

# 館山塾報



〒101-0061

東京都千代田区三崎町二一八―九二葉第三ビル2F  
 (〇三) 三六四―八六三八  
 (〇三) 三六四―八六三六 館山塾  
 Fax Tel  
<http://www.tateyamajuku.com/>

contents

夏期講習詳細…………… 2面 夏期不受講の諸君…………… 3面  
 前期終了試験…………… 3面 入試情報…………… 4面

~~~~~

## お知らせ

~~~~~

### ★保護者面談(中学の部)・個人面談(高校の部)

保護者面談、個人面談を実施します。塾での学習の様子、夏休みの学習の指針について、各科目担当講師(中三及び高校生はチーフ)が個別にアドバイスをします。中学生は期限内に提出された面談申込書をもとに日時を決定し、七月上旬にお知らせします。また高校生は七月中の実施となりますが、面談日時については、チーフと個別に話し合いのうえ決定します。

### ★個人記録カードの提出について

個人記録カードをまだ提出していない諸君は、面談が受けられませんので、早急に提出して下さい。

### ★入試情報

高校・大学入試説明会に関するお知らせは、以下の通り、随時お知らせしています。置いてある資料は、自由に持ち帰って戴いて構わないものです。

2階 エレベーター前

### ★中三模擬試験のお知らせ

館山塾では、七月以降、中三生を対象に、模擬試験(進研・駿台)の受付をしています。模試の結果は、志望校決定の資料として利用できるほか、推薦入試の資料としても活用できます。詳細は、各回の締切前に教室で配布します。

### ★高三対象オプション講座について

夏期講習期間中、通常の講習以外に、高三生の希望者を対象とした講座を開設しています。各自の講習日程と組み合わせせて、実力アップに是非活用してみてください。

期間	科目	担当	期間
期間 A 七月二十八日(土)～三十一日(火)	現代文	三輪裕治	期間 A・B
期間 B 八月十八日(土)～二十一日(火)	古典	胡子俊英	期間 C
期間 C 八月二十三日(木)～二十六日(日)	世界史	佐治 恵	期間 B
	日本史	佐治 恵	期間 C
	数 I II A B	熊倉幹男	期間 B
	数 I II A B	松山秀行	期間 B
	数 I II A B	松山秀行	期間 C

詳細は、同封の「オプション講座のお知らせ」(教室で生徒諸君にお渡ししているものと同じものです)をご覧ください。

~~~~~

## 7月～8月の予定

~~~~~

### 中高共通

七月十五日(日)……………	平常講義終了
七月十六日(月)・二十二日(日)……………	面談
七月二十三日(月)～二十六日(木)	夏期講習期間①
七月二十八日(土)～三十一日(火)	
八月二日(木)～五日(日)	夏期講習期間②
八月七日(火)～十日(金)	
八月十一日(土)～十七日(金)……………	休講期間
八月十八日(土)～二十一日(火)	夏期講習期間③
八月二十三日(木)～二十六日(日)	
八月二十七日(月)……………	
八月二十八日(火)……………	前期終了試験(高三)
九月一日(土)……………	平常講義開始

### ☆補講について

中学生及び高校一・二年生を対象に、講習以外の期間(期間③)に、補講期間を設けています。これは、夏期講習をより一層実り多いものにするための個別指導を行う期間です。詳細は、2頁をご覧ください。

~~~~~  
夏期特別講習のお知らせ  
~~~~~

~~~~~  
一、期間 ~~~~~

◎中学生 英・数・国 中三理社◎

※夏期特別講習の期間は、各科目、次の①、②のどちらか一方の八日間になります。

期間①：七月二十三日(月)～二十六日(木)

及び二十八日(土)～三十一日(火)

期間②：八月二日(木)～五日(日)

及び七日(火)～十日(金)

☆中三で理科・社会を選択する場合は、英・数・国とは別の期間で受講することになります。(例えば、英数国が期間①なら、理社は期間②)

※中三演習講座

期間③：八月十八日(土)～二十一日(火)

八月二十三日(木)～二十六日(日) Bクラス

※中学生特別個人指導

期間③：八月十八日(土)～二十一日(火)

又は八月二十三日(木)～二十六日(日)

☆八月二十七日(月)は、期間①と期間②の受講者及び講習不受講者を含む全員を対象に、前期終了試験が実施されます。

◎高校一年生◎

期間②：八月二日(木)～五日(日)

及び七日(火)～十日(金)

◎高校二年生◎ 英数国は期間①

期間①：七月二十三日(月)～二十六日(木)

及び二十八日(土)～三十一日(火)

期間②：八月二日(木)～五日(日)

及び七日(火)～十日(金)

期間③：八月十八日(土)～二十一日(火)

及び二十三日(木)～二十六日(日)

◎高校一・二年生特別個人指導◎

期間③：八月十八日(土)～二十一日(火)

及び二十三日(木)～二十六日(日)

☆八月二十七日(月)は、高一・高二(講習不受講者を含む)全員を対象に、前期終了試験が実施されます。

◎高校三年生◎

期間①：七月二十三日(月)～二十六日(木)

及び二十八日(土)～三十一日(火)

期間②：八月二日(木)～五日(日)

及び七日(火)～十日(金)

期間③：八月十八日(土)～二十一日(火)

及び二十三日(木)～二十六日(日)

☆八月二十八日(火)は、高三生(講習不受講者を含む)全員を対象に、前期終了試験が実施されます。科目数の多い諸君は一部を二十七日(月)に実施します。

二、クラス割 ~~~~~

☆原則として平常のクラス編成のまま講習は行われますが、時間割の都合上、一部のクラスのみ、講習用クラスに編成されています。

各自のクラスは、教材とともに配布された講習クラス通知票を参照して下さい。

三、特別個人指導 ~~~~~

☆特別個人指導は、夏期講習受講者を対象に、講習以外の期間に個別指導を行うものです。学力に余裕のある諸君には発展演習を、部活動等で欠席して理解不十分な諸君には補習を、と担当講師が塾生一人一人の状況に応じて、講習の成果をより一層確実なものにするためのシステムです。講師の側から強制的に呼び出す場合の他、塾生諸君が自主的に参加して質問や自習を行う時間帯としても活用できます。利用に際しては、予約が必要です。

対象 中学生～高校一・二年生の講習受講者

(不受講者は3頁の『九、講習不受講の諸君』をご覧ください)

科目 英語・数学・国語及び中三の理科・社会

期間 八月十八日(土)～二十一日(火)

及び八月二十三日(木)～二十六日(日)

☆特個の時間・教室等詳細は、講習中に書面で通知します。

☆特個は自主参加する場合も予約が必要です。予約に際しては各担当に直接申し出て下さい。

四、自習室 ~~~~~

対象 全員  
場所・時間 掲示でお知らせします。

## 五、講習用教材の配布

☆全学年、六月下旬から各教室で配布していただきます。十分に準備をした上、講習に臨むようにして下さい。

## 六、前期終了試験

―中学生及び高校一・二年生―

☆八月二十七日(月)に、中学生・高校一・二年生全クラスを対象に前期終了試験を実施します。

☆試験科目は、中学生は英・数・国の三科目(中三のみ、理科・社会選択者は、五科目)、高校生は英・数・国の受講科目及び日本史・世界史・物理Ⅰです(日本史・世界史・物理Ⅰは高2の日程に合わせて試験を実施します)。

☆中学生で単科受講者は、受講科目のみの試験となります。

☆試験の時間等の詳細は、各自の受験票(八月中旬に郵送)でお知らせします。

☆試験は、既習全範囲の実力試験です。

―高校三年生―

☆八月二十八日(火)に前期終了試験を実施します(受講科目の多い諸君は一部二十七日

に実施)。

☆試験科目は各自の受講科目です。物理総合、化学総合及び英語(英文解釈と英作文法)は二講座で一つの試験となります。

☆試験の時間等の詳細は、各自の受験票(後日配布)でお知らせします。

## 七、中三演習講座

☆中三生を対象に、講習とは別に、A・Bそれぞれのクラスに対応した演習講座が四日間、開設されます。

☆演習講座では、入試に即応した演習と解説が行われ、毎日、3科又は5科の成績表が渡されます。

☆各自の受講科目数に応じて、3科又は5科で実施されますので、特別な申し込みは必要ありません。

☆平常理社を受講していない場合でも、演習のみ理社の受講が可能です。受講を希望する場合は、事務までお申し出下さい。

## 八、後期クラス編成

☆前期が終了する八月の時点で、三月からの平常の成績及び総合試験の成績から、新たにクラスを編成します。なかでも、前期終了試験の成績が最も重視されます。

☆前期終了試験は、欠席するとクラス編成に支障をきたします。必ず受験して下さい。やむを得ぬ

事情で欠席する場合は、理由を明記した欠席届けを、事務まで提出して下さい。

☆欠席した場合は、必ず、振替受験日に受験することになります。

## 九、講習不受講の諸君

☆前期終了試験を受験することになります。

日時は、後日郵送される受験票で確認して下さい。

☆九月からの講義にスムーズに参加するため、講習用の教材を購入して出来る限り自習して下さい。購入は、事務局まで申し出て下さい。

☆講習期間の特別個人指導は講習受講者を対象としたものですので、不受講者は参加できません。

講習不受講の諸君で質問等がある場合は、講習期間に個別指導(有料)の講座を別途設けますので、希望される諸君はお問い合わせ下さい。

尚、個別指導の担当講師は、講習時間割の関係で、ご要望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。

## 十、夏期休講日について

☆八月十一日(土)～十七日(金)以外の休講日については、年間カレンダー・塾内掲示板・ホームページなどでご確認下さい。

入試アドバイス ; センター試験の公民科目について

理系・文系を問わず、来たる 2008 年 1 月 19 日(土)・20 日(日)のセンター試験で「公民」科目を受験する高 3 の諸君も多いことでしょう。2 日にわたるセンター試験最初の教科(19 日(土)の 9:30~10:30 に実施)でもあり、ぜひ納得のいく結果を出して、いいスタートを切りたいものです。そこで公民科目に関して若干のアドバイスです。

● 不安定な平均点の推移を分析した上で選択するなら、おすすめはやはり「現社」だ！

ここ数年の平均点の推移を追ってみましょう。

|       | 2001年  | 2002年  | 2003年  | 2004年  | 2005年  | 2006年  | 2007年  |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 現代社会  | 56.66点 | 60.49点 | 59.53点 | 57.27点 | 70.22点 | 57.91点 | 50.31点 |
| 倫理    | 68.13点 | 65.58点 | 60.66点 | 69.87点 | 67.03点 | 68.74点 | 69.66点 |
| 政治・経済 | 54.11点 | 52.45点 | 62.95点 | 61.49点 | 64.55点 | 61.05点 | 64.41点 |

どうでしょう。一見して、一時は安定していた現代社会の平均点に大きな揺れが起こっていることに気づくでしょう。特にここ 2 年間の 20 点近い急激な平均点の低下は衝撃です。でもそれに見合うだけ問題の難度が上がっているかという、そんなことはないのです。あえていえば国際問題(国際経済の分野を含む)で平均点が下がる、というこれはお決まりのパターンに注意しておけば問題なし。それ以外に目立つ設問の難化はないのです。

ではどうして現代社会でこんなに平均点が下がったのでしょうか。理由は二つ、①公民三科目でそれぞれ 60 点前後の安定した平均点がほしいが、現在はそこに至るためのプロセスで入試センターも試行錯誤中だということ。したがって平均点のターゲットゾーン 60~65 点をねらって、国際問題・調べ学習(レポートのまとめ)といった分野を中心に、08 年度の現代社会は易化するでしょう。②現代社会の平均点が安定しないもうひとつの理由は、受験者数の問題にあります。06 年度・07 年度の現代社会の受験者はそれぞれ約 22.1 万・20.7 万人ですが、同じく政治・経済は 6.3 万・7.0 万人、倫理は両年とも約 4.4 万人です。これだけ集中すれば、得点の不安定要因となる準備不足の受験生がかなり混ざるわけで、出題者の予想を超えた事態が起こりやすいのです。

逆に言えば、きちんとした準備さえすれば、やはり現代社会がおすすめ科目だと言えるでしょう。

● 倫理と政治・経済のポイントは、  
＜思想＞と＜経済＞！

右図は公民 3 科目の学習内容のイメージを図示したものです。たがいに重なる部分もかなりありますが、倫理がきわめて特徴的な教科であることがわかるでしょう。正しいこと・大切なものなど、一口に言って価値判断にかかわることをあつかうのが倫理なので、哲学や宗教などの＜思想＞分野に関心があれば倫理を選択するとよいのです。この“価値”を問題にする倫理に対して、徹底して“事実”をあつかう政治・経済、なかなか対照的です。ことに＜経済＞というシビアな現実に入り込んでいくことに興味を持てる人は、現代社会ではなく、むしろ政治・経済で受験することをおすすめします。政治と経済の 2 つの分野だけに集中していくことができる政治・経済の方が、範囲の広い現代社会より勉強がはかどることは十分にありうるのですから。(佐治)

